

出火社石油産出地探検報告

今般出火社附近石油産出地探検ノ命ヲ受テ評員
軍務少書記升原貞澄同西村博ヲ従ヒ青森
日出発十二月十日付迄ニ到着探検ニタル始未
たり
如し

出火社ハ津部生蕃部内ニ在リテ其以前一社ヲ爲シ人
口ノ數モ多カリシカ現時衰頽シテ僅ニ教戸ヲ存シ
目下東勢角撫墾署管内北勢十一社ノ中ナル
馬那邦社ニ隸屬セリ其地台中縣單蘭庄ヲ
東ニ去ル約五里東勢角庄ヲ東北ニ巨ル約六里
單蘭溪ノ上流左側ノ山林靡ニテ此処ニ至ルハ單
蘭庄ヨリスルヲ便トスト蚕氏道陸ノ通スルモノナク且ツ

同庄ノ人民ト生蕃人トハ多年兵戣ノ觀アルヲ以テ本官
 ハ東勢角ヨリ單蘭溪ニ出テ其南側ノ積ナル蕃人
 ノ僅カニ通スル小徑ニ依リ溪ヲ溯リ進ム嘗テ劉
 銘傳カ大兵ヲ卒ニ蕃人征討ノ際駐在セシト云フ
 大師管ノ下ヲ過キ溪ニ沿ヒ左方ニ屈折スレハ老
 屋我及ヒ竹隻眉ノ右蕃社ヲ右側ノ山嶽ニ見
 更ニ進ニテ東スレハ右側山頂ニ蘇魯社ヲ見左側
 山頂ニ馬那那社ヲ見ルニ至レリ出火ノヶ処ハ馬那
 那山林廉單蘭溪ヲ左ニ去ル五六町ナル一小溪流ノ
 縁ニアリテ灰黒色ノ軟岩破碎セラレタル間ヨリ瓦
 斯ノ發生スルヲ見ルニミナレ之ニ一点ノ火ヲ添フレハ爆
 鳴シテ一間四方位ノ間処々ニ噴火シ其騰高ハ僅
 カニ数寸ナルモ沙シク土砂ヲ除キ去レハ尺余ノ火焰

0797

盛ニ噴騰スルヲ見ル火燭ハ溪水ヲ一濺スレハ忽チ
消尽シ得ヘク其奈莫ハ確カニ石油瓦斯ナルコト
ヲ知ルヲ得ヘシ詳細ノ説明ヲ別れの傷大業教
授ノ調者一概報ニ陳ル
單蘭ヨリ内知ニ至ルニ直チ單蘭溪ヲ溯リ得ヘ
キモノ一週路ト稱スヘキモノナリ溪積大小ノ砂石ハ所
在ニ是積シ夫余ノ茅膏ハ在所ニ繁茂モ十餘ノ
溪流ハ行途ニ横ハリ之ヲ押シ借シハ手足立ロニ
傷ツキ之ヲ游リ進メハ深キ水腿ヲ没シ浅キモ脛
ニ及ヒ之ニ加フルニ漂冷タル急流稍モスレハ中途ニ
於テ轉倒スルノ憂アリ蕃人ハ此ノ急流ヲ涉ルニ三
五相組ンテ已ノ手ヲ他ノ肩ニ掛ケ一列ニテ横断
セルヲ見ル加之所在ノ蕃人ハ他人ノ已カ部派ニ入ル

0798

ヲ嫌フ一甚シク撫育ノ當り者タル撫墾署員スラ
 未タ彼等ノ承諾ヲ得サルカ爲メ入りシ一ナシトシテ
 然ルニモ拍ラス本官等ソ切ニ東勢角撫墾署員ニ
 迫り入りテ探ラニ一ヲ望ミタルヲ以テ今署員モ非常
 ノ苦心ヲ以テ彼等ヲ贖カシ懇ニ説諭シテ漸ク入ルコ
 トヲ得たり然レ氏彼等ハ尚ホ本官等ノ入ルヲ快トセ
 り曰ク日本大人ノ来テ出火ノテ從テ見ルハ何ノ爲メ
 ナルヤ蓋シ已レニ利アルモノト認メラレトキハ之ヲ欲
 サルノ念ナラント本官等ノ現場ヲ見テ帰ラントスル
 ニ際シ携リヘシ酒ヲ彼等ニ與ヘントセシモ彼等ハ之
 ヲ肯セス曰ク今以酒ヲ受クル時ハ將來再々来テ
 箇必ヲ忌撫シ又ハ茶堀セラレモ敢テ拒クテ能ハサル
 ヘシ大人等表シ再々之ヲ茶堀シ又ハ飲セラレサル

0799

一ツヲ盟ハルレハ余等ハ喜ンテ之ヲ言フケレ其盟ヒトシ
 テハ余カ腰間狭ム処ノ一彈丸ヲ抜キテ受テ取ラシシ
 一ツヲ要ス後日万一此ノ盟ヒト違ヒタルハ彈丸ヲ相
 互ノ間ニ飛フモ降セストノ詎ナリト摠壑署員ハ將
 来撫育上溫和和局ヲ結リシ以テ策ノ得タルモ
 ノトシ程ニ彼等ニ諭シテ土地ハ決シテは欲スルコト
 ナシ然レモ今後尙ホ之ヲ見ルノ要アルハ乞フ復タ
 見ルヲ得セシメヨト説キタルニ彼等ハ能ク之ヲ肯セサ
 リレカ漸ク再ヒ見ル一太ケハ裁カ社之ヲ派スヘキモ派
 道各社ノ拒派ハ余等ノ知ル処ニアラスト云々ハツリ
 仍テ摠壑署員ハ彼ノ彈丸ヲ受取リ盟約ノ式
 ヲ終ハタルヨリ彼等ハ旅メテ去レテ其酒ヲ飲ムレ
 到レリ

以上陳フルカ如ク磷油ヲ採取スル見込アリトスルモ先少
 此等ノ困難ヲ排シテ而シテ作業ニ就カサルヘカラス
 之シテ排シ得テ業ニ就キタル上運搬ノ方法ソトテ
 留平蘭庄ニ出シた処ヨリ深ニ沈クテ下ルヲ五里
 余ナル大甲ニ送リ之シヨリ舟楫ノ便ヲ備ルカ又ハ
 將來汽車ノ通スルニ及シテ其便ヒヨルノ外ナルハ
 シ然ルニ合処ノ磷油亦ノ露出シ枯ラサルヲ以テ
 新言シ得ヘカラスルモ的場工學士及井理學士
 等ノ説ニ依ルモ曰処ノ磷脈ハ苗栗附近南牛
 關山林内ナル出磷坑ノ油露出地ノ一處ニシテ
 尤ノ三層層ノモノニアラス望ミアルハ及テ出磷坑ノ磷
 脈ナルヲ信シ得ヘシ依テ才一着ニ出磷坑ノ磷油
 ヲ採用セラルルニ至ラハ曰処ハ苗栗ヲ巨ル僅ニ二重許

0801

大湖ニ通スルノ路傍ニアリテ運搬ノ便存工守ノ難
易等モ亦日ノ論ニアラサルヘント思料ス出礪坑
産出礪油ニ付テハ先ニ既ニ調査セラル、処アルヲ以
テ之ニ贅入セス
帰途苗栗附近上大坑ト云ヘル処ニ石灰礪ヲ産出
セル旨ヲ聞キ曰処ニ赴キ之ヲ実探シタルニ炭質人
類ル思フ炭層モ淺ク傳ナルカ故ニ到底産ミシ夢人
ヘキモノニアラス仍テ別ニ報告ヲ呈セス
此行礪物學専門家トシテハ大學教授工學士
的場中、民政局長、産産部技師、理學士石井
八万次郎ノ二氏同行セリタルヲ以テ候道ヲ得ル
処少ナカラス又々苗栗民政支廳、苗栗守備隊
日隊並ニ大湖守備隊、東勢角及ニ大湖、兩撫

聖之皇者、東勢角警察署ハ本官、一行、便
利ヲ得ヘラシ殊ニ東勢角撫墾署長心得越智
元雄及其署員諸氏東勢角警察分署長
大熊廣篤ハ其盡力少カラス特ニ茲ニ託載
ス

探検ノ畧圖及的場教授、調査概報ハ別紙ニ
之ヲ添付シ石井技師ノ報告書及東勢角ヨリ
全行ニシテ令処守備隊佐厚歩兵少尉ノ階測
量ヲ進テ進達スル処アルマシ
左探検始末報告表也

明治二十九年十二月

臺灣總督府軍務局海軍部第一課員

海軍大尉矢代由徳

0803

臺灣總督府軍務局海軍部長角田秀松敬

送
意

0804

